

システム情報コースの主な資格

1. 高校教員免許「情報」

（「高等学校教諭第一種免許状(情報科)」）

2. 情報処理技術者試験

① ITパスポート

（総合情報学基礎演習Ⅰ・Ⅱ、学科全員）

② 基本情報処理技術者、応用情報処理技術者、 ネットワークスペシャリスト等、

上位の技術者試験

（総合情報学基礎演習Ⅰ・Ⅱ、ITパスポート取得者）

3. 社会調査士

※大塚教授説明

高校教員免許「情報」

[高校教員免許「情報」の価値が高まる社会背景]

- 小学校～高等学校で「プログラミング教育」が必修化

- 2020年度から小学生が、2021年度から中学生が、

- 2022年度から高校1年生が新たな学習指導要領の教科書で

- 「プログラミング教育」の学習が実施される

- 入試科目に「情報」

- 2018年5月に安倍首相は「プログラミングなどを含む情報科目を大学入学試験に追加する方針」があることを表明

- 「達成度テスト」の科目に「情報」が含まれる

高校教員免許「情報」

[高校教員免許「情報」の価値が高まる社会背景]

- 「情報」教員の確保のための制度改革
 - 東京都の例
 - ◆令和3年度からは、「情報」の教職免許だけで、採用可能
- 慢性的かつ絶対的な「情報」の**教員不足**
 - 現時点、高校でプログラミングを教えられる教員の数が非常に少ない
 - 数学、理科などの他の科目の（情報が専門でない）先生が「情報」を担当



高校教員免許「情報」のニーズと価値の上昇

高校教員免許「情報」

☆その他の高校教員免許「情報」がおすすすめな点

●情報の専門家としても認められる資格

➤「情報」の高校教員免許でその実力が認定されSEになった人も